

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公表番号】特表 2008-544327 (P2008-544327A)
 【公表日】平成 20 年 12 月 4 日 (2008.12.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-048
 【出願番号】特願 2008-518142 (P2008-518142)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 15/00 (2006.01)

G 1 0 L 15/28 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 15/00 2 0 0 S

G 1 0 L 15/28 5 0 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 3 月 23 日 (2009.3.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ユーザのパスワードまたはセキュリティコードを認証するためのパスワード認識システムであって、

入力された発話についての語学上の下位語音声単位を提供するように構成された下位語音声単位認識構成要素と、

前記入力された発話から分離して入力されたユーザ識別子を提供するように構成されたアプリケーションと、

前記下位語音声認識構成要素及び前記アプリケーションから分離した、ユーザのパスワードまたはセキュリティコードとユーザ識別子とを記憶するセキュア情報記憶部を含むセキュリティシステムであって、

提供された前記入力された発話についての下位言語音声単位及び前記ユーザ識別子を受けとり、受け取った前記ユーザ識別子に関連付けられた前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードを読み出すように構成され、

前記セキュア情報記憶部から読み出された前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに関連する語学上の下位語音声単位を提供された前記入力された発話についての下位言語音声単位と比較して、前記入力された発話が前記ユーザ識別子に関連付けられた前記セキュア情報記憶部内の前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードであるかを認識し、前記入力された発話が前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードであるときに前記パスワードまたはセキュリティコードが正しい旨の認証メッセージを出力し、前記入力された発話が前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードでないときに前記パスワードまたはセキュリティコードが正しくない旨の認証メッセージを出力するように構成された、セキュリティシステムと、

を備えたことを特徴とする、パスワード認識システム。

【請求項 2】

前記下位語音声認識構成要素と前記セキュリティシステムとが、セキュアインタフェースで接続されたことを特徴とする、請求項 1 に記載のパスワード認識システム。

【請求項 3】

前記セキュア情報記憶部は、前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに関連する語学上の下位語音声単位を記憶し、

前記セキュリティシステムは、前記セキュア情報記憶部から前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに関連する語学上の下位語音声単位を読み出し、前記入力された発話についての語学上の下位語音声単位と比較することを特徴とする、請求項１に記載のパスワード認識システム。

【請求項４】

前記セキュリティ情報記憶部は、前記ユーザ識別子と、前記ユーザのパスワード又はセキュリティコードとを含むセキュアデータベースであることを特徴とする、請求項１に記載のパスワード認識システム。

【請求項５】

前記セキュリティシステムは、前記入力された発話が前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードであるときに前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードが正しい旨の認証メッセージを前記アプリケーションへ提供することを特徴とする、請求項３に記載のパスワード認識システム。

【請求項６】

前記アプリケーションは、前記入力された発話が前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードであるときに、解放されることを特徴とする、請求項５に記載のパスワード認識システム。

【請求項７】

前記語学上の下位語音声単位は、音素であることを特徴とする、請求項１に記載のパスワード認識システム。

【請求項８】

前記ユーザ識別子は、ユーザ名またはユーザアカウントであることを特徴とする、請求項１に記載のパスワード認識システム。

【請求項９】

パスワード認識システムであって、

ユーザのパスワードまたはセキュリティコードの入力をユーザに促し、前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対応する入力された発話を受信するように構成されたユーザインタフェースと、

前記入力された発話を受信して当該入力された発話に対応する語学上の下位語音声単位を認識し、認識された前記語学上の下位語音声単位をセキュリティシステムへ提供するように構成された下位語音声単位認識構成要素と、

前記入力された発話から分離されたユーザ識別子を前記セキュリティシステムへ提供して、前記入力された発話が前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードである旨または無い旨のフィードバックを前記セキュリティシステムのパスワード認識構成要素から受信するように構成されたアプリケーションと、

を備えたことを特徴とする、パスワード認識システム。

【請求項１０】

前記アプリケーションは、セキュアインタフェースを介して前記セキュリティシステムへ接続されるように構成されたことを特徴とする、請求項９に記載のパスワード認識システム。

【請求項１１】

前記語学上の下位語音声単位は、音素であることを特徴とする、請求項９に記載のパスワード認識システム。

【請求項１２】

前記ユーザ識別子は、ユーザ名またはユーザアカウントであることを特徴とする、請求項９に記載のパスワード認識システム。

【請求項１３】

コンピュータでユーザのパスワードまたはセキュリティコードを認証するための方法で

あって、

プロセッサが、ユーザのパスワードまたはセキュリティコードの入力をユーザに促すことと、

プロセッサが、入力された発話を受信することと、

プロセッサが、前記入力された発話に対応する語学上の下位語音声単位を認識することと、

プロセッサが、認識された前記入力された発話に対応する語学上の下位語音声単位と、前記入力された発話から分離されたユーザ識別子とをセキュアインタフェースを介してセキュリティシステムへ提供することと、

前記セキュリティシステムが、セキュア情報記憶部に記憶された前記ユーザ識別子に関連づけられた前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位を読み出すことと、

前記セキュリティシステムが、提供された前記入力された発話に対応する語学上の下位語音声単位と、前記セキュア情報記憶部から読み出した前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位とに基づいて、前記入力された発話が前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードであるかを決定することと、

を含むことを特徴とする、方法。

【請求項 14】

前記セキュリティシステムが、提供された前記入力された発話に対応する語学上の下位語音声単位と、前記セキュア情報記憶部から読み出した前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位とが合致すると決定したときに、前記コンピュータが、ユーザアプリケーションを解放することをさらに含むことを特徴とする、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記セキュリティシステムが、前記セキュアデータベースへ前記ユーザ識別子と共に前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードを入力することと、

前記セキュリティシステムが、前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位を提供することと、

前記セキュリティシステムが、提供した前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位を前記ユーザ識別子に関連づけて前記セキュアデータベースへ記憶することと、

をさらに含むことを特徴とする、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードは、音響入力装置を介して、発話として入力され、

前記セキュリティシステムが、前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位を提供することは、

前記入力された発話内で前記語学上の下位語音声単位を認識することを含む、

ことを特徴とする、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードは、テキスト入力装置を介して、テキストとして入力され、

前記セキュリティシステムが、前記ユーザのパスワードまたはセキュリティコードに対する言語学上の下位語音声単位を提供することは、

前記テキスト入力装置からの前記テキストについての前記語学上の下位語音声単位を発生させること、

を含むことを特徴とする、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 18】

前記語学上の下位語音声単位は、音素であることを特徴とする、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ユーザ識別子は、ユーザ名またはユーザアカウントであることを特徴とする、請求項 13 に記載の方法。